

5 サイバー空間の安全対策について

(1) サイバー攻撃への不安

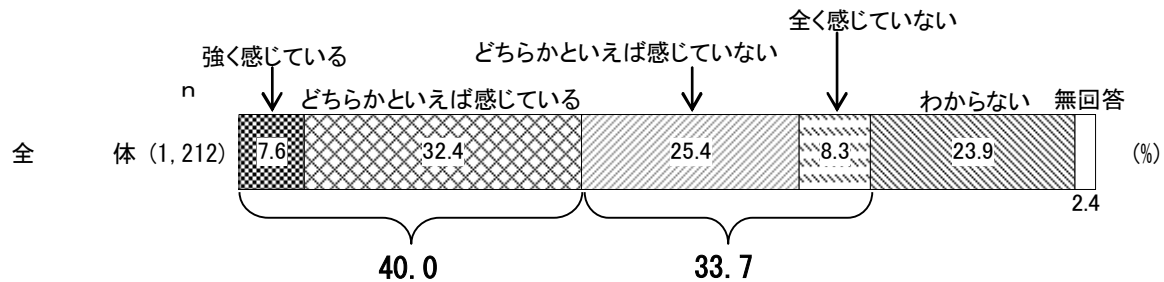
◇『感じている（計）』が4割

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、千葉県内で8競技を行う予定です。大会開催中は、社会的混乱の発生や情報の盗み取りなどを目的とした、多くの行政機関や企業のパソコンやシステムに対する、コンピュータウイルスの感染やハッキングなどのいわゆるサイバー攻撃が増加する懸念があり、これを防ぐ対策が重要になります。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、サイバー空間の安全を守る対策をより効果的に推進するため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問18 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じますか。（○は1つ）

<図表5-1>サイバー攻撃への不安



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際して、競技会場がある千葉県で、サイバー攻撃が起こるのではないかと不安を感じるか聞いたところ、「強く感じている」（7.6%）と「どちらかといえば感じている」（32.4%）を合わせた『感じている（計）』（40.0%）が4割となっている。

一方、「どちらかといえば感じていない」（25.4%）と「全く感じていない」（8.3%）を合わせた『感じていない（計）』（33.7%）が3割台半ばとなっている。（図表5-1）

【地域別】

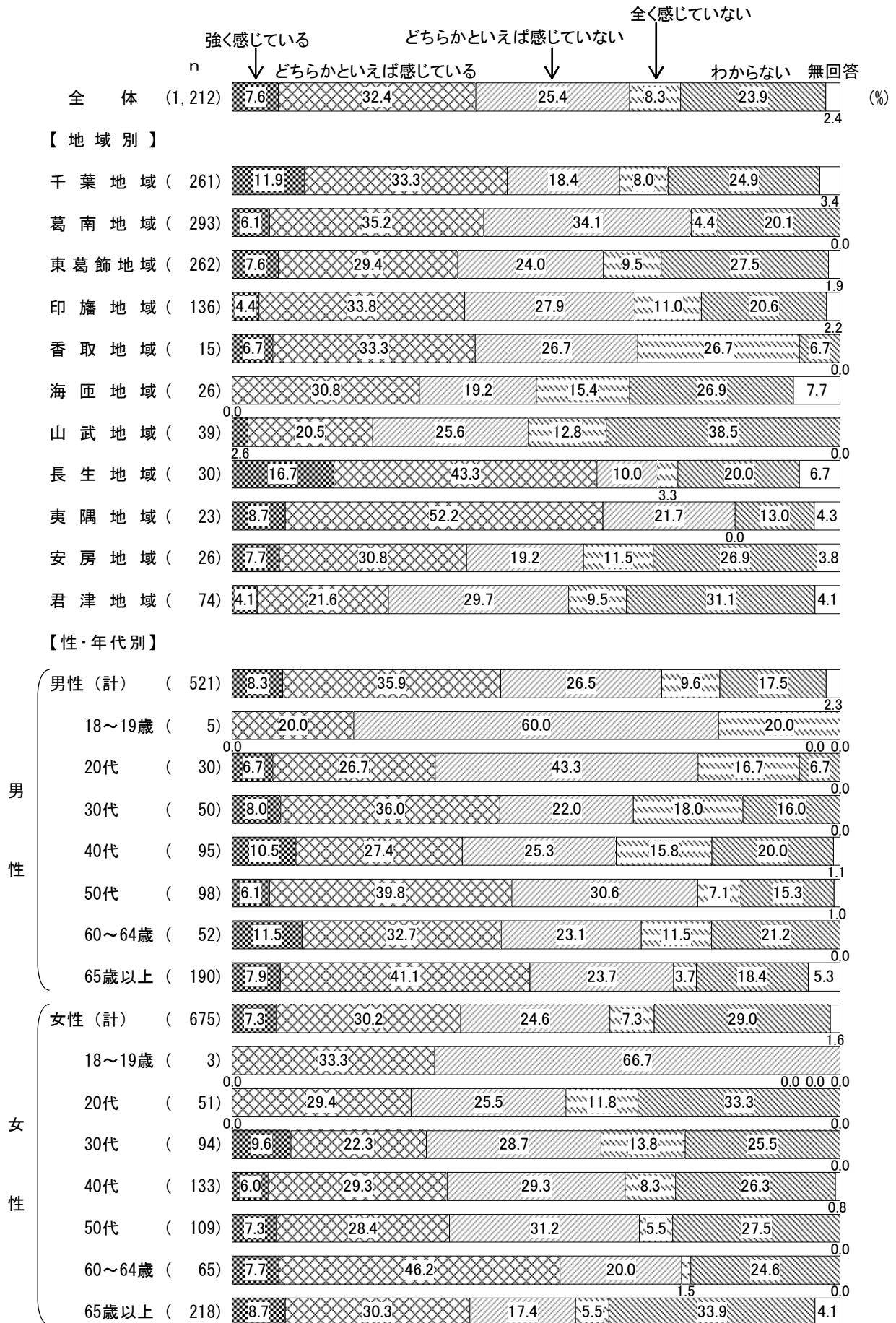
地域別にみると、『感じている（計）』は“夷隅地域”（60.9%）、“長生地域”（60.0%）が6割で高くなっている。（図表5-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている（計）』は女性の60～64歳（53.8%）が5割台半ば、男性の65歳以上（48.9%）が約5割で高くなっている。

一方、『感じていない（計）』は男性の20代（60.0%）が6割で高くなっている。（図表5-2）

<図表5-2>サイバー攻撃への不安／地域別、性・年代別

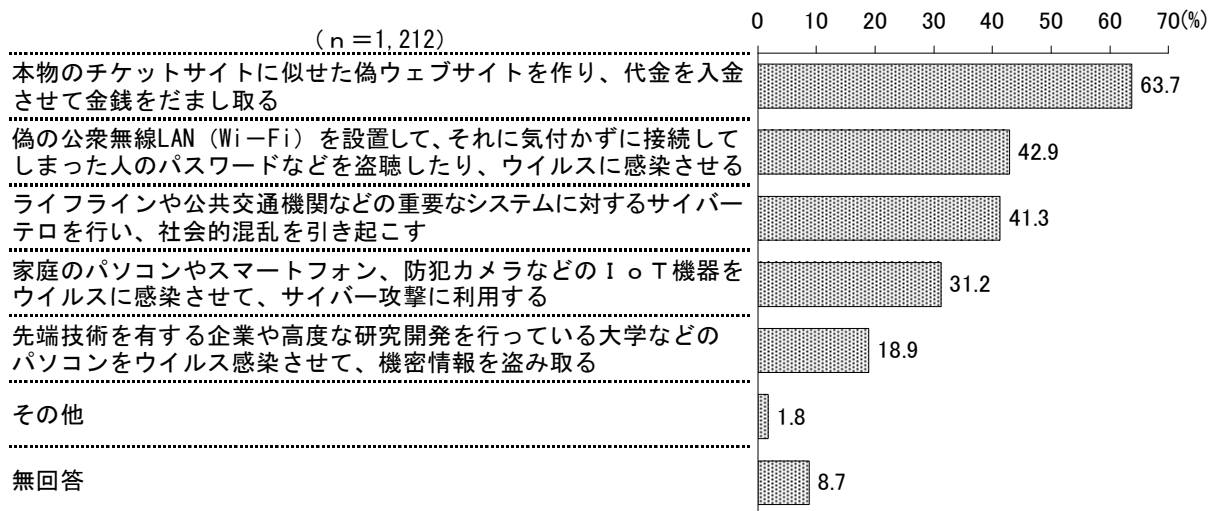


（2）不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃

◇「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」が6割台半ば

問19 あなたが、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何ですか。（○はいくつでも）

<図表5-3>不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃（複数回答）



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて不安を感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃は何か聞いたところ、「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」（63.7%）が6割台半ばで最も高く、以下、「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」（42.9%）、「ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす」（41.3%）が続く。（図表5-3）

【地域別】

地域別にみると、「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」は“東葛飾地域”（49.2%）が約5割で高くなっている。

「先端技術を有する企業や高度な研究開発を行っている大学などのパソコンをウイルス感染させて、機密情報を盗み取る」は“千葉地域”（24.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表5-4）

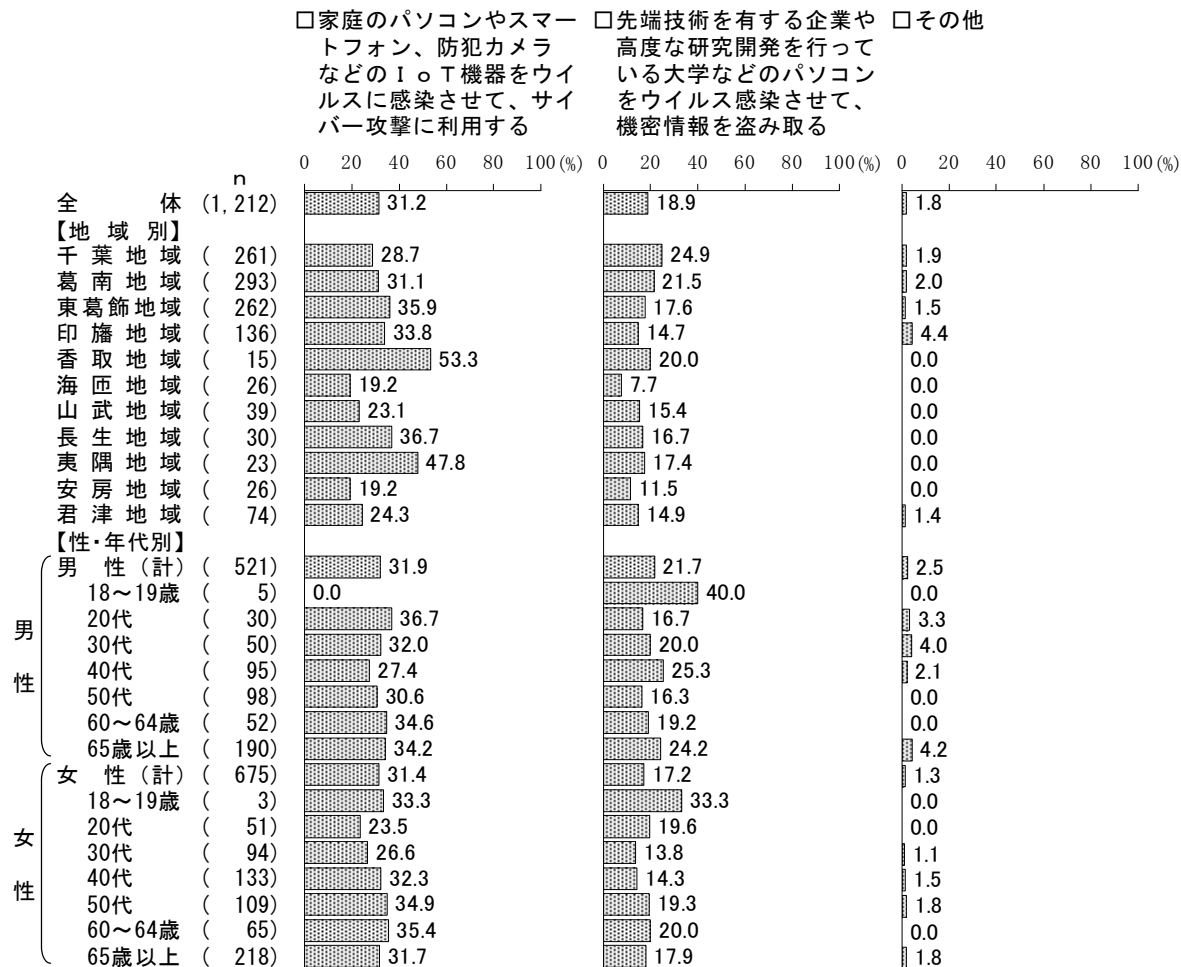
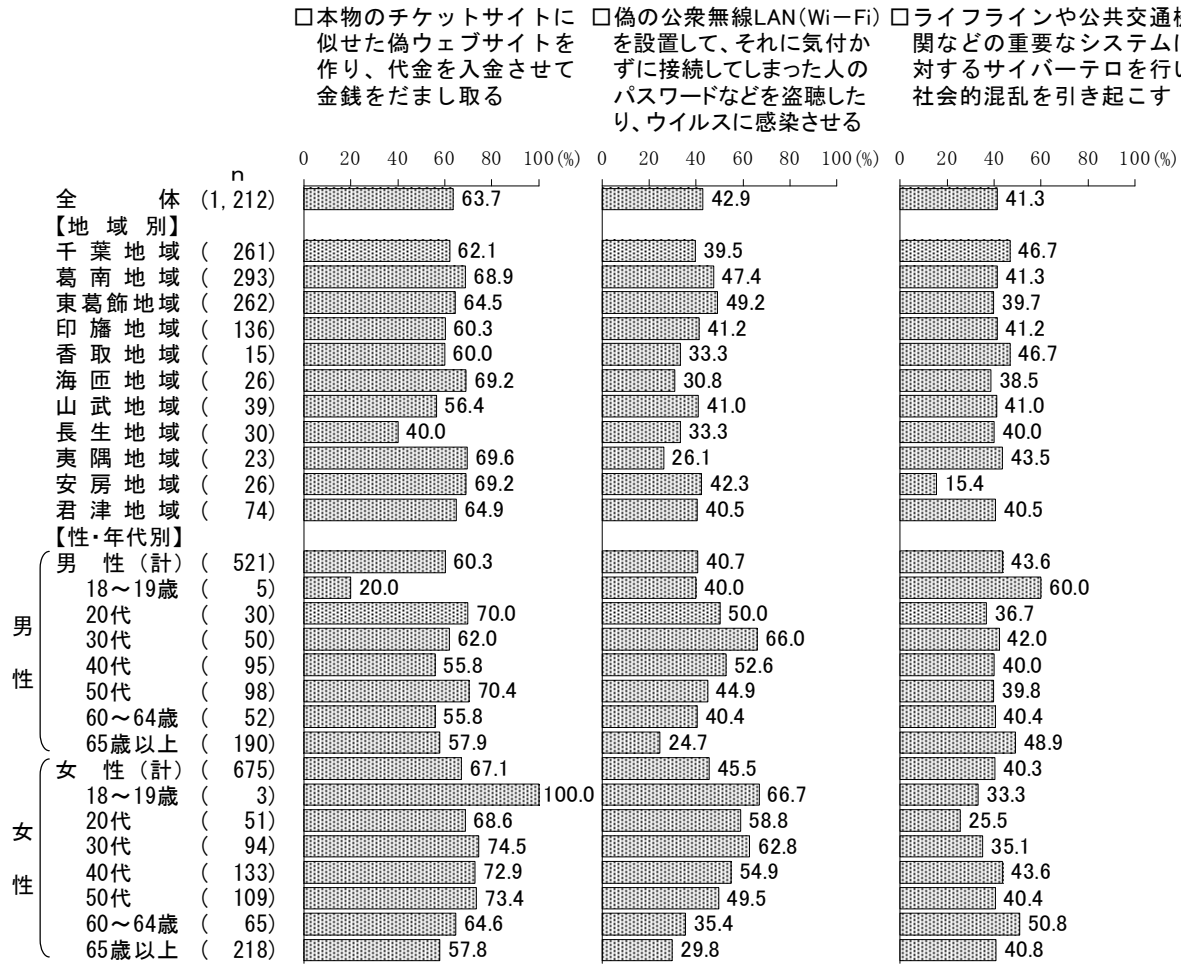
【性・年代別】

性・年代別にみると、「本物のチケットサイトに似せた偽ウェブサイトを作り、代金を入金させて金銭をだまし取る」は女性の30代（74.5%）が7割台半ば、女性の40代（72.9%）、50代（73.4%）が7割を超えて高くなっている。

「偽の公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置して、それに気付かずに接続してしまった人のパスワードなどを盗聴したり、ウイルスに感染させる」は男性の30代（66.0%）が6割台半ば、女性の30代（62.8%）が6割を超え、女性の20代（58.8%）が約6割、女性の40代（54.9%）が5割台半ばで高くなっている。

「ライフラインや公共交通機関などの重要なシステムに対するサイバーテロを行い、社会的混乱を引き起こす」は男性の65歳以上（48.9%）が約5割で高くなっている。（図表5-4）

<図表5-4>不安に感じる、又は実際に起こりそうだと考えるサイバー攻撃(複数回答)／地域別、性・年代別

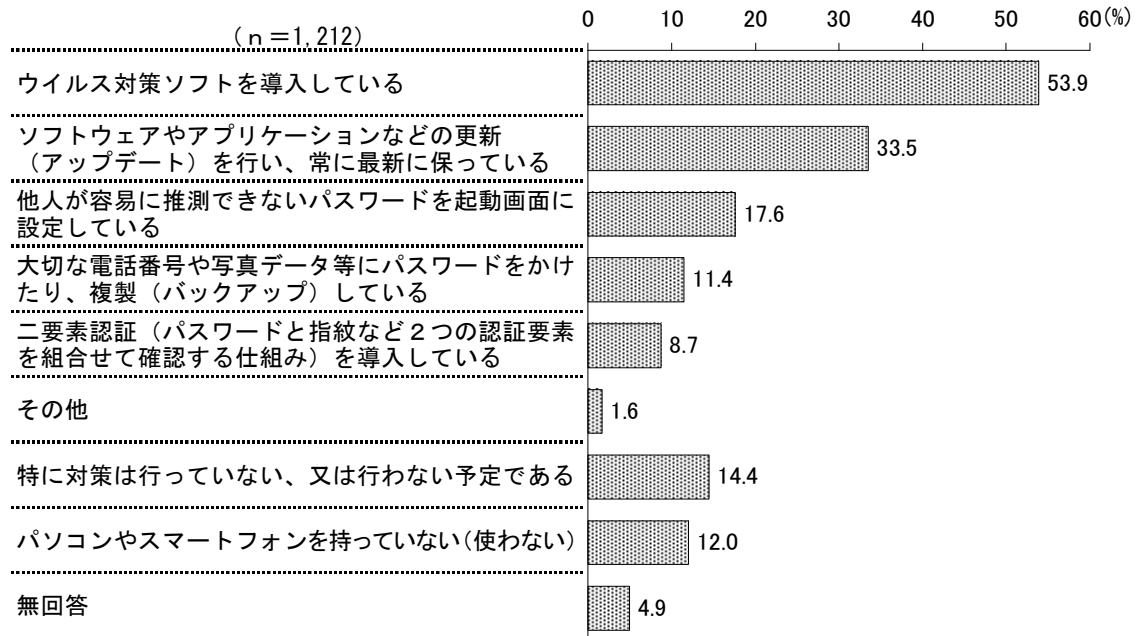


（3）サイバー攻撃への対策状況

◇「ウイルス対策ソフトを導入している」が5割台半ば

問20 あなたは、サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定ですか。（○はいくつでも）

＜図表5-5＞サイバー攻撃への対策状況（複数回答）



サイバー攻撃の被害を防ぐため、自分のパソコンやスマートフォンでどのような対策を行っている、又は行う予定か聞いたところ、「ウイルス対策ソフトを導入している」（53.9%）が5割台半ばで最も高く、以下、「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」（33.5%）、「他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している」（17.6%）が続く。（図表5-5）

【地域別】

地域別にみると、「ウイルス対策ソフトを導入している」は“印旛地域”（64.7%）が6割台半ば、「葛南地域”（62.1%）が6割を超えて高くなっている。

「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」は“葛南地域”（41.3%）が4割を超えて高くなっている。

「他人が容易に推測できないパスワードを起動画面に設定している」は“葛南地域”（27.3%）が約3割で高くなっている。

「特に対策は行っていない、又は行わない予定である」は“山武地域”（33.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表5-6）

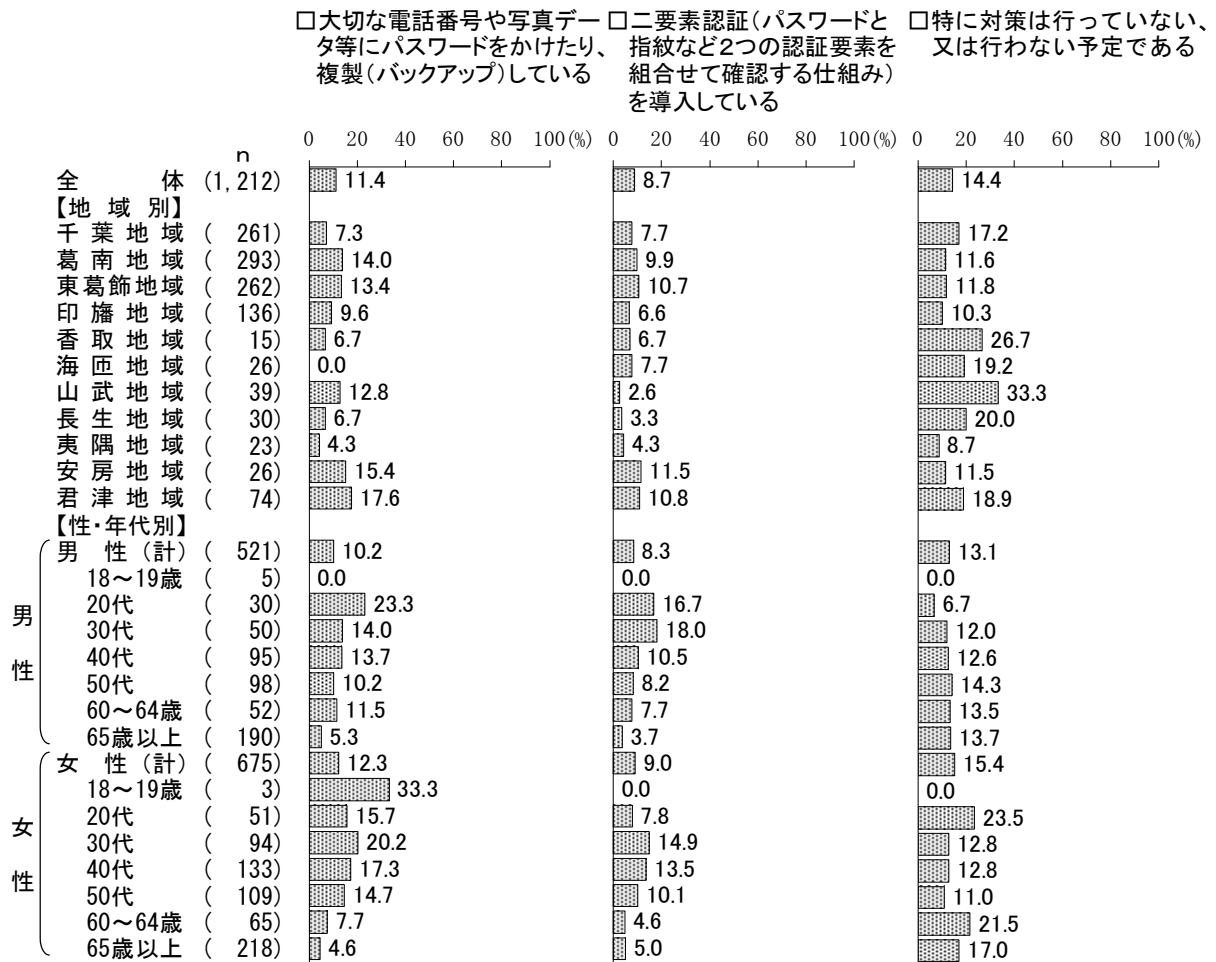
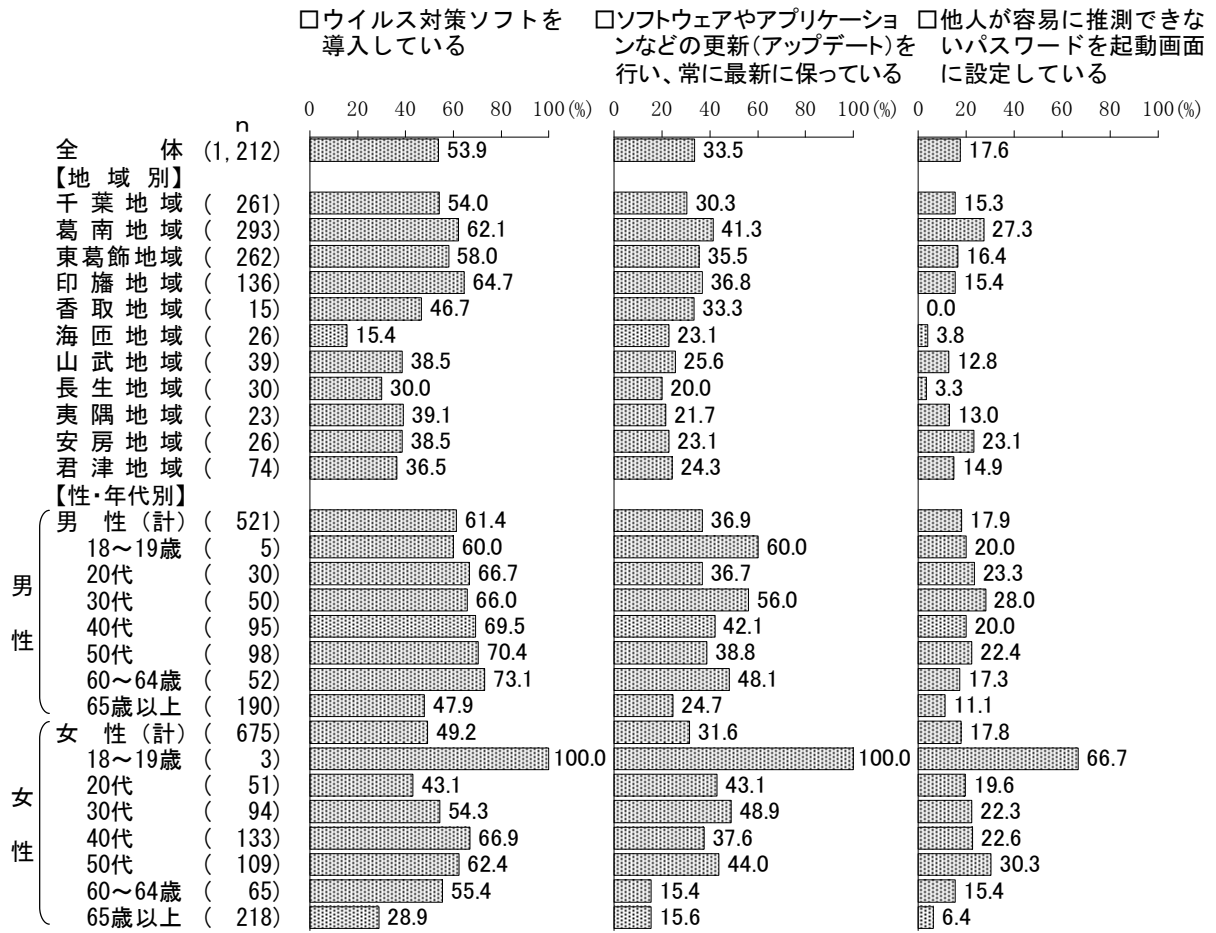
【性・年代別】

性・年代別にみると、「ウイルス対策ソフトを導入している」は男性の60～64歳（73.1%）が7割を超え、男性の50代（70.4%）が7割、男性の40代（69.5%）が約7割、女性の40代（66.9%）が6割台半ばで高くなっている。

「ソフトウェアやアプリケーションなどの更新（アップデート）を行い、常に最新に保っている」は男性の30代（56.0%）が5割台半ば、男性の60～64歳（48.1%）と女性の30代（48.9%）が約5割、女性の50代（44.0%）が4割台半ばで高くなっている。（図表5-6）

<図表5-6>サイバー攻撃への対策状況（複数回答）

／地域別、性・年代別（「パソコンやスマートフォンを持っていない（使わない）」を除く上位6項目）

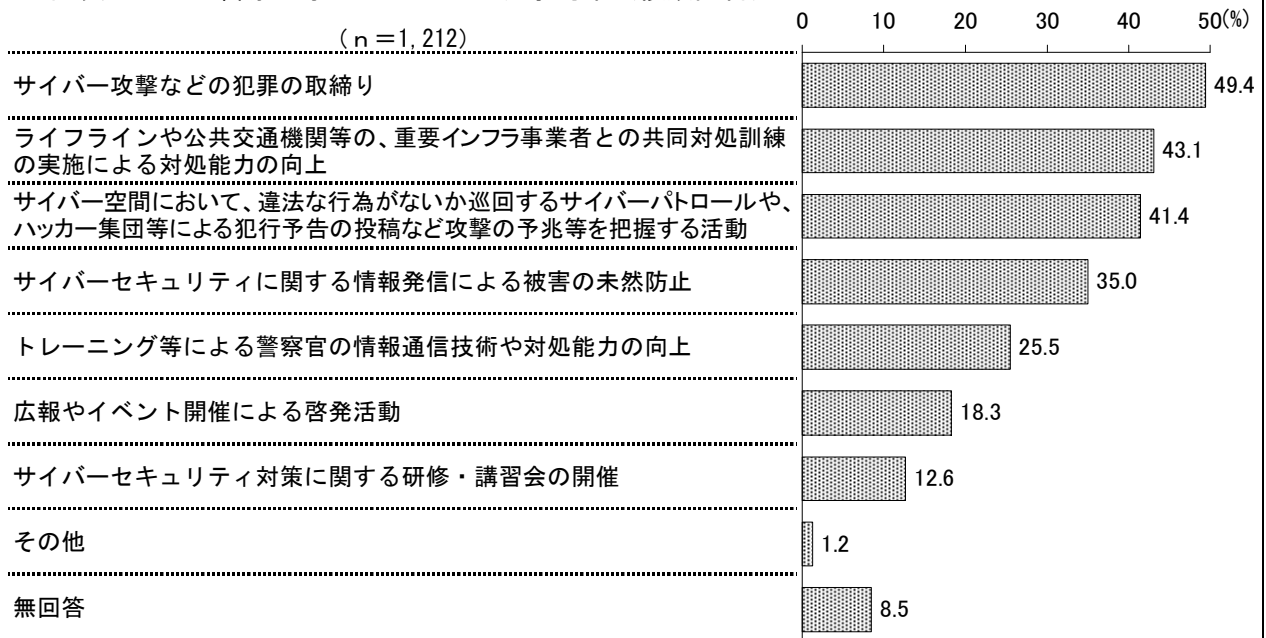


（４）警察に求めるサイバー攻撃対策

◇「サイバー攻撃などの犯罪の取締り」が約５割

問21 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、あなたが警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何ですか。（○はいくつでも）

<図表 5-7> 警察に求めるサイバー攻撃対策（複数回答）



警察に取り組んでほしいサイバー攻撃対策は何か聞いたところ、「サイバー攻撃などの犯罪の取締り」（49.4%）が約５割で最も高く、以下、「ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上」（43.1%）、「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」（41.4%）が続く。（図表 5-7）

【地域別】

地域別にみると、「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」は“葛南地域”（49.8%）が約５割で高くなっている。（図表 5-8）

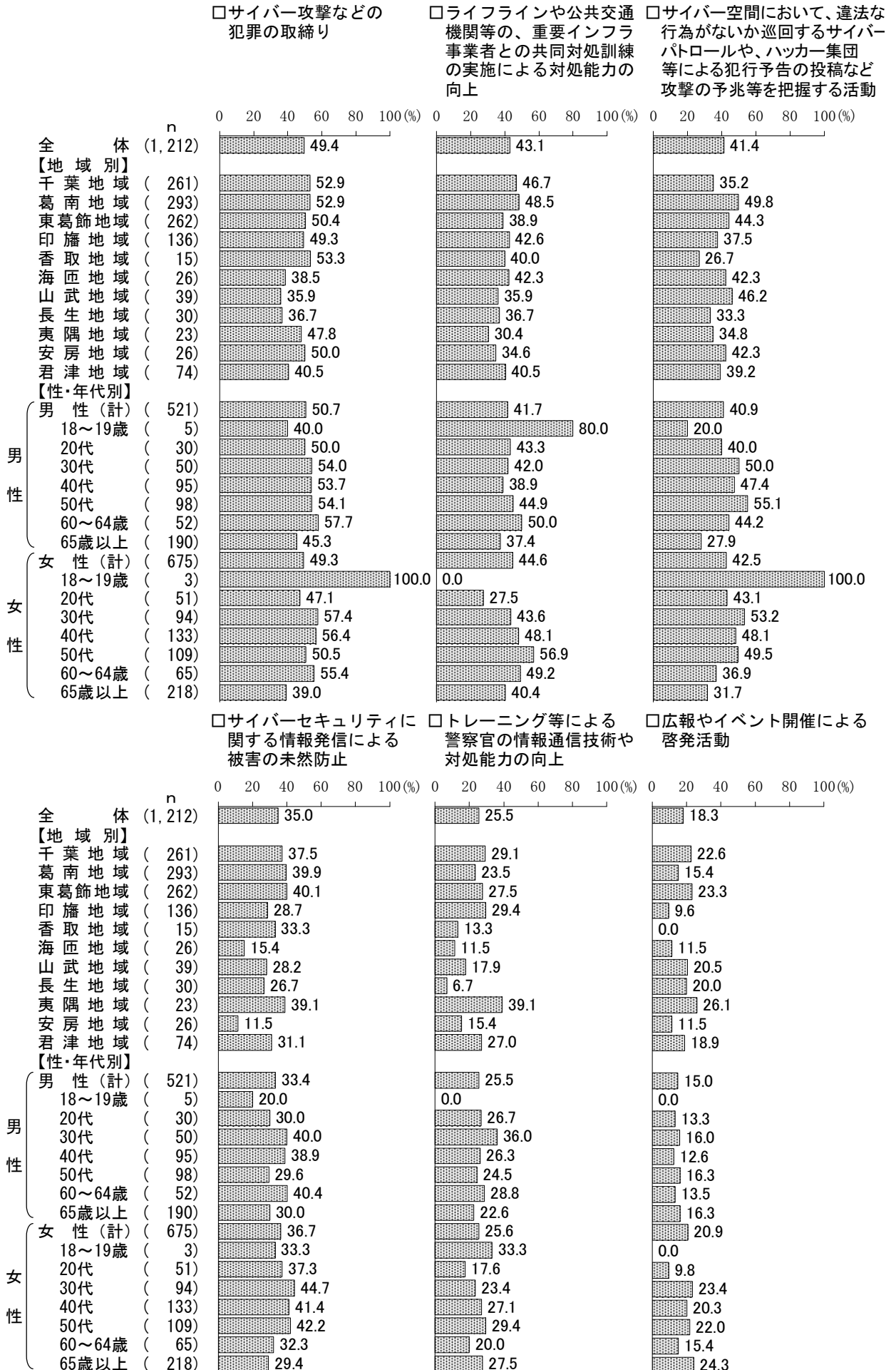
【性・年代別】

性・年代別にみると、「ライフラインや公共交通機関等の、重要インフラ事業者との共同対処訓練の実施による対処能力の向上」は女性の50代（56.9%）が５割台半ばで高くなっている。

「サイバー空間において、違法な行為がないか巡回するサイバーパトロールや、ハッカー集団等による犯行予告の投稿など攻撃の予兆等を把握する活動」は男性の50代（55.1%）が５割台半ば、女性の30代（53.2%）が５割を超えて高くなっている。

「サイバーセキュリティに関する情報発信による被害の未然防止」は女性の30代（44.7%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 5-8）

<図表5-8>警察に求めるサイバー攻撃対策（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「サイバー空間の安全対策」やここまでの質問（問18～問21）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「サイバー空間の安全対策」の自由回答（抜粋）

- 偽のチケットは絶対出回ると思うので対策を考えてほしい。（女性、20代、葛南地域）

- 官民共同で対策にあたってほしい。民間の知恵も借りてサイバー犯罪に対応してほしいと思う。（女性、40代、葛南地域）

- サイバー関係は知識がある人は得、知識がない人は損、とはっきり分かれる世界なので、対策はできるだけやっていきたいと思う。（女性、30代、葛南地域）

- 東京2020では、私自身大会ボランティアにエントリーしていることもあり、テロ対策に無関心ではられません。ぜひ、県民一丸となって阻止につながる啓発活動に力を入れて頂きたいと思います。（女性、50代、東葛飾地域）

- サイバー攻撃を他人ごとだと思っている人が多いと思うので、身近な犯罪であることを認識してもらい必要があると思う。（女性、30代、東葛飾地域）

- 自分には全く知識がないので、国の方でしっかり対策を練って対応してほしい。スペシャリストに考えてもらい対応してもらいたい。（女性、50代、東葛飾地域）

- パソコンを使っているが、得意ではないので、お手上げです。最低ここまではやるべき対策とやり方を、冊子などで教えてほしい。（女性、50代、千葉地域）

- インターネットや身近にある存在が手軽にいつでも侵入しやすい状況を作りやすいのでなるべくサイバーパトロールを行い未然に防ぐように努力して行えたらいいなあと思いました。（女性、20代、東葛飾地域）

- サイバー攻撃にはキリがないので、出来るだけ素早い情報提供をしてください。（男性、60～64歳、千葉地域）

- サイバー攻撃の具体的内容がわからないので、わかりやすく説明し広報や啓発活動をして欲しい。子供もスマホを持っているので学生にも。（女性、40代、東葛飾地域）